

第2回生野小学校 学校跡地検討会議 開催概要

1 開催日時

令和2年1月29日（水）19時00分～20時20分

2 開催場所

生野区役所 5階 502会議室

3 出席者

- ・委員：新井委員、浮田委員、金城委員、鬼頭委員、寺田委員、中北委員、中崎委員、船越委員、堀越委員、米川委員
- ・区役所：山口区長、櫻井副区長、杉本まちづくり推進担当課長、大川地域活性化担当課長、井平安心まちづくり担当課長、松野地域活性化担当課長代理、川楠地域活性化担当課長代理、竹中担当係長、濱崎主任、澤見係員
- ・(株)セミコロン：嶋田氏、藤野氏

4 会議内容

(1) 区長挨拶

(2) 検討会議資料説明

- ・区としての基本的な考え方
- ・跡地検討会議の位置づけ
- ・今後の検討内容
- ・コンセプト要件のイメージ
- ・コンセプトの方向性について
- ・学校用途での校舎活用事例
- ・用途指定部分の考え方
- ・生野小での現在の地域活動
- ・基本的運営スキーム
- ・利活用前から運営中に発生する費用項目
- ・提案の枠組みイメージ

(3) 意見交換

- ・地域として小学校を防災拠点として残すこと、コミュニティ（夏祭りなど）の場所として残すことをお願いしたい。校舎の老朽化や維持管理費等については地域で考えるのではなく区役所の方で考えていくことだと理解している。
⇒閉校後の校舎活用は防災拠点として残すこと、コミュニティの場所として残す

ことを前提に進めている。それだけでなく、まちの活性化に繋がるような仕組みもあわせて考えたいという理想を掲げている。その実現のため、意見をいただきながら活用方法を考えていきたいというのがこの会議の位置づけとなる。

- 区役所では何がまちの活性化の形と考えているのか。
⇒生野区には大学が無いので、大学のサテライトを誘致し、若い人が出入りするようになれば良いと考えている。若い人が学校付近に住み、近くのお店で消費する等ができていくと良い。学校が入ると人の流れができる。
また、公園的な場所として、子育て世代が子どもを連れてきて、昼間遊べたりできる場所があると、その近くに住みたいというニーズが出てくる。それも活性化の一つと考えている。
- 跡地活用方法は区と事業者が検討して報告してくれれば良い。
⇒跡地活用に必要な条件等をお聞きするのがこの会議であるため、何かあればお教えいただきたい。避難所機能や地域活動等、現状の活動が保証されれば良いのであれば、区で公募条件を作成したうえで委員に報告させていただくこととなる。
- 防災拠点の機能と地域活動を維持した活用を要望したい。事業者が決まらなかった場合、ゴーストタウン化してしまう可能性もあるため、この資料の内容で進めて良いと思う。公募条件を踏まえ、どのような事業者が関心を示しているか、公募条件案の具体的な内容ができれば説明いただきたい。その段階で地域にも説明できると思う。
⇒公募条件の作成を進めたうえでご報告させていただく形とする。なお、公募前に市場調査を行い、その結果も踏まえながら公募条件を最終化するのでまた情報連携させていただく。